

きもの豆知識

着物のクリーニングについて

冬から春にかけて着物を着られた方が、夏前のこの時期にクリーニングに出されることが多いようです。今回は着物のクリーニングの加工の種類を見ていきたいと思います。

染み抜き

染み抜きは、汚れの種類に併せて部分的に最適な溶剤で汚れを落とします。

汗抜き

水を使って汗を集中的に洗い、速やかに水分を吸い取り、一気に乾かします。夏場や長時間の着用の場合はおすすめです。

洗い張り

着物をほどいて、水や溶剤を使い全体の汚れを取ります。生地もふっくらとした風合いを取り戻します。仕立て替えの際にお勧めです。



着物クリーニングといえば通常これです。

丸洗い

専用の溶剤で着物全体を洗います。チリ汚れや簡単な油汚れはきれいになります。頑固な汚れは丸洗いだけでは落ちない場合があるので、染み抜きと併用できれいにします。

染色補正

カビや湿気などで変色したものを脱色し、地色と同じように色を入れて目立たないように補正します。

クリーニングの際は半衿は外さずに！

長じゅばんと半衿を別々に出すと、別々の料金になってしまいますが、半衿を付けたままなら、長じゅばん1枚の料金になるのでお得です。

歌舞伎のススメ ~『神明恵和合取組（しんめいめぐみわごうとりくみ）』~

3月に発売された『演劇界4月号』を最後に廃刊になり、歌舞伎の情報源が少なくなってしまいました。数年前から購読している歌舞伎のDVDコレクションも7の巻をこえ、家に歌舞伎のDVDだけでも20の枚近くコレクションしているので、わざわざ出かけなくても歌舞伎を鑑賞できる環境ではありますが、やはりリアルな劇場は臨場感があり違った楽しみがありますね。3年間、御園座さん以外の歌舞伎の劇場に訪れていないので、そろそろ歌舞伎座にも出かけたいと思っています。そういえば、数年前に大阪松竹座で『神明恵和合取組（かみのめぐみわごうのとりくみ）』が上演された際、どうしても見たくてわざわざいったことを思い出します。『神明恵和合取組（かみのめぐみわごうのとりくみ）』は通称『め組の喧嘩』といって、火消と相撲取りの喧嘩の話です。今日では喧嘩はご法度ですが、江戸時代は『火事と喧嘩は江戸の華』と言われたぐらい、火事や喧嘩は多かったようです。この演目は私の好きな演目の中でもトップ3に入る演目で、1890年に新富座で初演されました。明治時代の作品だけあって、わかりやすい内容と軽快な掛け合いと最後の場面でのダイナミックなアクションシーンは必見です。少し話はずますが、鎌倉時代を背景にした作品が脈々と続く中では、この時代にこの作品が新作だったわけですから、最近上演された『ワンピース』や『ナウシカ』なんかも、100年後には古典と呼ばれる日が来るかもしれませんね。



あそびの玉手箱

4月に続き5月もギャラリーで展示していただけました。今回は『太田光明 墨彩画と楽筆』というタイトルで素敵な書と絵を飾っていただけます。楽筆というのは今回初めて知ったのですが、読んで字のごとく楽しみながらリラックスして書くというのが特徴で、左手などで書くことで右脳を使い、自分でも思っても見ない字になったりするのが面白いそうです。以前私もお店のチラシを作る際に左手で書いたことがあります、確かに左手に書かされているような不思議な感覚を持ったことがあります。手本もなくリラックスした気持ちで自由に書き、書いてる時間も癒しの時間なのでそうです。新緑もきれいな頃ですので、是非とも、墨彩画と楽筆そして新緑の空間を楽しみに来てください。



竹次郎ギャラリー

『太田光明 墨彩画と楽筆』

5月26日（木）～30日（月）

～レンタルギャラリー～

趣きある和の空間に作品を展示してみませんか？

趣のある和の空間で、作品を飾ってみませんか？個人の作品から、趣味の教室（お花、写真、書道、絵画、手芸など）の作品展など、文化・芸術を育む場を提供したいという思いから、竹次郎カフェを開催の日程（毎月5日間）に限り、レンタルギャラリーとしてお使い頂けます。

レンタル期間：竹次郎カフェ開催日（毎月5日間）

料 金：1500円（5日間）

※カフェ開催日は事前にお問合せ下さい。

TEL 0563-35-0039 大橋まで

竹次郎～TAKEJIRO CAFE～コラム



いよいよかき氷の季節がきました。今年は『桃』や『プチトマト』も5月から出しますので、是非とも食べに来てください。

イベント案内

ギャラリーカフェ

竹次郎 TAKEJIRO CAFE

5月26日（木）～30日（月）

夏の着物と浴衣展を開催します。

TEL 0563-35-0039